



鳥取県立美術館 コレクション展PLUS

没後70年

中島菜刀

NAKAJIMA SAITOH

2025.8.5TUE_12.7SUN

前編：8月5日[火]-9月28日[日] 後編：10月9日[木]-12月7日[日]

開館時間：9時-17時*最終入館は30分前まで

*夜間開館は、8月9日[土]・8月10日[日]・8月30日[土]・8月31日[日]

休館日：月曜日*前編：9月15日[月] 後編：10月13日[月]・11月3日[月]・11月24日[月]は開館

前編：9月2日[火]・9月16日[火]／後編：10月14日[火]・11月4日[火]・11月25日[火]

一般400円(団体320円) 学生・70歳以上200円 高校生以下無料

*企画展のチケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

*未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

*コレクション展のチケットでご入館いただけます

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12 TEL:0858-24-5442 <https://tottori-moa.jp/>



日本画家・中島菜刀(1902-55)は現在の鳥取県・八頭町に生まれました。早くより画家を志し、周囲の援助もあって京都市立絵画専門学校(現 京都市立芸術大学)へ入学します。苦学の末に同校を卒業し、色彩豊かで抒情的な作品の数々を発表して院展での入選を重ね、1942年には故郷・鳥取の果樹園に取材した《薫風梨園》で第29回院展の絵画の部における最高賞を受賞しました。今後の更なる活躍が期待された矢先、戦局の悪化によって活動の場を奪われ、戦後も中央画壇への復帰を果たせぬまま、1955年7月19日に53歳で病没します。本展覧会は菜刀の没後70年を記念し、青年期を中心とする前編、晩年までの後編に分けてその画業をご紹介します。